



認知症になっても、安心して暮らせる地域へ

ー地域をつなぐ「チームオレンジ」のメンバーを募集していますー

認知症になっても、一人一人できること・やりたいことがあり、周囲の適切な支えを得ながら、住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができます。そんな地域づくりを支えるのが「チームオレンジ」です。

問い合わせ 介護高齢福祉課（市庁舎1階、☎65・4145）

チームオレンジとは

チームオレンジは、認知症の本人・家族・認知症サポーターが一緒になって活動するチームです。

専門職や地域住民とも連携しながら、認知症の人やその家族の困りごとを早期から継続して支援する取り組みを行っています。



メンバー数：60人
※令和8年7月末時点

●50代～80代まで、男女問わず、幅広い年齢の人が在籍

✓2040年には、高齢者の3人に1人が認知症に？

急速な高齢化に伴い、認知症および軽度認知障害の人数は増加しています。

推計では、2040年にはその人数が約1200万人となり、高齢者の約3.3人に1人が認知症か、認知症の前段階の軽度認知障害になると考えられています。

※令和6年12月認知症施策推進計画(厚生労働省)より

▶ **特別な病気ではないからこそ、認知症への理解を深めることや、認知症になっても主体的に地域に関われることが大切です。**

▼チームオレンジの活動（一例）

誰もが安心して暮らせる地域を目指し、「できるときに、できることから」をモットーに、身近なところからさまざまな活動を展開しています。活動は以下の例に限らず、認知症の人や家族のニーズに寄り添った取り組みを進めています。



認知症カフェの運営

認知症の人や家族、地域住民、専門職が気軽に集い、交流できる場を提供しています。お茶を飲みながら、ゆったりとおしゃべりを楽しんだり、情報交換したりできます。



地域での普及啓発活動

イベントなどを通じて、認知症への理解を広める活動です。認知症を正しく知り、地域全体で温かく見守る意識を高めています。



個別支援活動

認知症の人が「やりたいこと」「続けたいこと」を実現できるよう、ご希望に合わせて、話し相手や散歩などの活動をしています。

「チームオレンジ」に参加しませんか？

「地域のために何かできることはないか？」「認知症の人を支えたい」と感じている人、大歓迎です！特別な知識や経験は問いません。一緒に学び、活動しながら、地域で認知症の人やご家族を支えませんか？

詳細は、気軽に介護高齢福祉課へ問い合わせください。

あなたの「一歩」が、誰かの笑顔につながります。

▼メンバーになるには…

STEP 1 認知症サポーター養成講座を受講する（無料・約90分の講座）

STEP 2 認知症サポーターステップアップ講座を受講する（無料・約120分の講座）

まずは
ここから！

「認知症サポーター養成講座」のご案内

認知症サポーターとは、認知症の人とその家族を見守る応援者です。養成講座では、具体的な症状や認知症の人との接し方などを学びます。

対象：市民または市内に通勤・通学している人
費用：無料

申し込み：各開催日の2日前までに、電話で介護高齢福祉課へ。WEBフォームからの申し込みも可。



チームオレンジ参加者にお話を伺いました！



福原さん（68歳）

「介護経験を、 地域のために生かせる場所」

母が認知症だったため、介護の経験もあり、認知症は私にとって身近なものでした。そんな中、「認知症サポーター養成講座」を受講していたことから「ステップアップ講座」の案内が届き、「もっと深く学びたい」と思い、チームオレンジへの参加を決めました。活動を通じて、介護の悩みを共有できる仲間にも出会うことができました。

自分のため、家族のため、そして地域のために、一緒に活動しませんか？

開催日程	開催場所
9月5日(土)、10時～11時30分	帯広けいせい苑 小規模多機能ホームいなほ (西5南37)
11月18日(水)、14時～15時30分	緑西コミュニティセンター (西17南4)
12月16日(水)、18時30分～20時	市庁舎10階第5A会議室 (西5南7)
翌年2月16日(水)、14時～15時30分	自由が丘福祉センター (自由が丘3)